

令和3年1月28日

阿賀野市議会議長 市川英敏様

産業建設常任委員会委員長 山口功位

所管事務調査報告書

本委員会は、令和2年第8回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事項 道の駅整備事業について
- 2 調査期日 令和3年1月28日(木) 午前10時00分
- 3 調査経過

令和4年阿賀野バイパス供用開始に合わせ開業を目指している道の駅（敷地面積約3.3ヘクタール）事業の現状について調査のため、阿部産業建設部長、石原政策監、田邊農林課長、相馬商工観光課長並びに担当職員の出席を求め本委員会を開催し、担当部長及び担当職員から調査事項についての説明を受け、質疑、意見集約を行いました。

4 調査結果

1) 施設概要について

(1) 現在、建築の設計が進み基本設計の段階から実施計画に移り、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の発注準備を進めているところです。施設のレイアウトを決めるうえで「人の流れを上手く取り込む」という点を一番に重視し、道の駅の施設敷地全体をひとつの空間と捉え、道の駅施設の利用者と公園の利用者それぞれの動線を上手く活かした設計、配置となっていました。

また、道の駅と国の施設である24時間トイレの間は、単に駐車場と公園をつなぐ通路スペースではなく、各種イベントにも活用できる屋根付き広場（訪れた人たちが行き交う賑わいと交流が生まれる場）とし、催事開催の際は車の乗り入れも可能となっています。

(2) 地場産品等、物販面積は、約360平方メートル。買い物と飲食が一体的に利用しやすくなるよう配置され、屋根付き広場側と北側駐車場側をガラス張りとして

し開放的になっています。

- (3) 飲食スペースは、フードコート形式（90 席数程度）とし、子供連れの方が安心して飲食や休憩ができるようにプレイルームに面しています。また、授乳室を備え、子育て世代にも配慮されています。
- (4) プレイルーム（広さ 80 平方メートル程度）は、主に未就学児を対象とした遊びの場とし、遊具や絵本などを備える予定であり、南側の公園に面していることから、部屋からそのまま外の公園に出られるように工夫もされています。
- (5) 無料休憩スペースは、屋根付き広場付近の出入り口に設けられ、軽食を扱う厨房ブースが隣接しており、簡単な食事もできるようになっています。なお、施設のほぼ中央に配置されている情報発信スペースではデジタルサイネージやパンフレットなどを備え観光情報などを提供予定です。
- (6) 内部空間は、屋根の内側形状（天井）空間を活かし、開放感を確保。窓から自然光を取り込み、ゆったりとくつろぎ感を持って食事や買い物、休憩ができるような設計です。これら一連の施設はバリアフリーにも対応しており、段差がなく通路の幅も一定程度確保されています。
- (7) 施設の外観は、複数の切妻屋根を組み合わせ、阿賀野市のシンボルである五頭連峰の山並みを連想させる造りとなっており、屋根材は地元特産の安田瓦を用いる計画です。
- (8) 阿賀野市と国土交通省が整備する駐車場の規模（小型車138台、大型車11台、障がい者用3台、二輪車4台分）は、国道49号バイパスの交通量をもとに算定されており、駐車場の区画線は横幅2.5メートル、縦幅5メートルを計画しています。
- (9) トイレは、通常のトイレのほかに男女兼用の大型ブース、幼児用、車いすの方が利用可能な多機能トイレ等を設ける設計でした。

2) 設備概要について

- (1) 電気設備は、高圧電気が必要なことから変圧器を設置するほか、非常用発電機を設置し、照明の3分の1程度とコンセントの一部、自動火災報知機、防災アンプ、電話、情報機器、自動ドアについて対応します。また、業務放送や非常放送、音楽放送や防犯の観点から監視カメラも設置する計画でした。
- (2) 給水設備は、水道本管直結方式とし、水質の良い上水が確保できます。なお、施設内の洗面器自動水洗、大便器のリモコン、小便器の感知センサーは自己発電タイプを採用し停電時においても利用可能であり、衛生器具設備は超節水タイプを採用していることから、大幅に水量の削減が図られます。
- (3) 換気設備は、省エネ型の全熱交換型換気扇を採用し、季節を問わず新鮮な空気を取込むことが可能でコロナ対策等にも効果的とのことです。これら工事の全体工程として令和3年4月から翌年の3月まで約1年間で完成見込みです。

3) 要望事項

委員会では、主に以下の点について要望をいたしました。

- (1) 指定管理者である道の駅準備協議会の早期会社設立と体制ならびに運営計画の確立。
- (2) 物販等各ブース関係者との早急な協議。
- (3) 公園とプレイルームに設置する遊具は、障がいを持たれている方、弱者を配慮しての選定。
- (4) 豪雪時の除雪対応のさらなる検討。

なお、関係者が一丸となり設置目的にかなった形で開駅を迎えるため、計画性を持って今後も継続して協議を進めていくよう申し添えました。

以上、産業建設常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。